三浦太鼓店　創業 150 周年

2015年 書き初めならぬ、書き納めです！

今はとにかく“走る”
行ける所まで突っ走る！
来年は京都木津川
フルマラソンに挑戦します！

来年は文字通り次の代へ
継ぐ年となります。

たくさんの大きな夢を
与えてくれてありがとう！
娘の優芽(ゆめ)は 10 ヶ月に
なりました!

大きく和をするこころ大和
それは“愛”

自分の道を進む
大きな“一歩”

和太鼓はいきている

～伝統を守り、伝統を創る～

太鼓店新聞　　vol. 10　2015 年 12 月

pick up

伝統を守り

三浦太鼓店研修旅行 in 四国！

こんにちは、六代目彌市です(^^)/　お陰様で日々忙しく太鼓作りをさせていただいておりますが、
中にこもって仕事するだけではなく現地へ直接足を運んで実際にその土地、その場で感じる事もとても
大切だと思い、ここ数年社員一同で視察研修旅行へ行くようになりました(^^♪

和達のみなさん
本当にありがとうございました！

そんな三浦太鼓店視察研修旅行は今回で３度目！四国は愛媛、香川、
徳島への３日間の旅へ出かけてまいりました！初日のメインは
愛媛県は内子町、三六-SABUROKU-や打二六-DANJIRO-を購入下さり、
大変遠方よりご縁をいただいている和太鼓集団和達さんの所へ！
愛知を出発し、内子に到着するまで約 10 時間の旅！遠い(^_^;)
しかし、直接現地へうかがって、納品させてもらった太鼓の様子も
みながらお話しできることはとても幸せな事です(^^♪
私たちが想像した以上に太鼓メンテナンスや使い方にこだわりと愛着を
もってくださっている事を感じとても嬉しかったです。

2日目は四国中央市の土居秋まつりへ

３トンもの太鼓台

バット型バチ

今回、この地区八雲神社の氏子である上天満さんから太鼓の音に
ついてのご相談があり、これは実際に祭りの“音”を感じなければ
と思い伺わせていただいたのです！現地へ到着すると早速遠くの方
から太鼓の音が！ドーーンドーーンと響き渡り、とても立派な
太鼓台が練り歩いてきました。

太鼓台と呼ばれる山車には２尺～2 尺３寸
の長胴が１台のみで、バット型のバチ。

叩かせていただきました

興味深く覗き込んでいると、ぜひということで実際に太鼓を叩かせていただきました！
さらに、何と法被を渡され祭りに参加させていただけることに！　嬉しすぎます(ToT)

祭りの“音”

この太鼓台１つの重さが約３トンもあるそうで、実際担いでみると
重いなんてものではありませんでした(*_*)
各地区からスタートした太鼓台が、メイン会場に集結すると総勢 16 台
もの『かきくらべ』が始まります。
かきくらべでは隣の太鼓台との距離が近く、隣の地区の音に負けると
合図となる太鼓の音がまったく聞こえず上手に担ぎ上げることが
できません。祭男たちの“音”へのこだわりというのが、
ああここにつながっていたんだと感じる事が出来た瞬間でした。
すばらしい伝統の祭りに参加させていただくことができ、本当に
貴重な体験となった今回の旅。
この経験を糧に音作りへの探求をしていきたいと強く思いました。

今回お邪魔しました四国のみなさん本当にありがとうございました！

伝統を創る

150年を迎えたこの1年を振り返って

こんにちは(^-^)しほです。今年は 1865 年創業三浦太鼓店は、１５０年を迎えた年となりました。
５０年１００年先へと受け継がれる企業精神を養いたいと思って企画し挑戦した５０キロウォークから始まり、この記念すべき年に本当に濃い１年を過ごすことができました。

１番のできごとは「愛知ブランド企業」の認定。
初代の時代から守り続けてきた愛知県三河地方を中心に使われている
この地域特有の締太鼓「チャラボコ太鼓」。その一方で、今の時代に対する
新商品開発を評価され、私たちが日々掲げている理念
「伝統を守り、伝統を創る」という想いを強く感じることのできた、
大変嬉しい出来事でした。
そしてなんと！！なんと！！！(>_<)
今年もやっちゃうんですよ５０キロウォーク！(>_<)
さて、これも三浦太鼓店の伝統となって行くのでしょうか（笑）

愛知ブランド授賞式

伝統を守り伝統を創る　三浦太鼓店150年の今を生きる私たち

初代三浦彌市

「１５０年の今を生きる」
この言葉は、三浦太鼓店初代三浦彌市が残してくれた
写真を目にし、１５０年目を迎えたとき、これまでの
歴史の重さをを感じ、気づきと共に実感した想いです。

一族全員でお払いを受けます

地元岡崎にある家康公ゆかりの神社にて
150年の今を残すことができました

「150年の今を生きる」　まさにその今を。

受け継ぎ、この先へと受け継がれる。そんな想いと願いを込め、初代三浦彌市の誕生日に、
新たな歴史をカタチに残すことが出来ました。
今を残してくだっさ歴史に感謝をし、５０年１００年２００年先へと繋げる強い想いを胸に、
新たな年からまた今を一歩ずつ、未来へと繋いでいきます！

NEWS

三浦太鼓店、ついに全国デビュー!?

こんにちは、慶さんです(^_^;)　先日、NHK 教育テレビ【オンマイウェイ（ON MY WAY)】で
三浦太鼓店を紹介していただきました！　今までも、何度かテレビに取り上げて頂いたことは
あったのですがなんと、全国放送は初めてです！　三浦太鼓店一同、ドキドキソワソワです（笑）

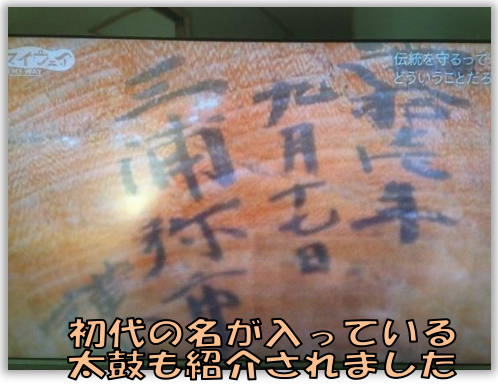
四国へも同行取材です！

10 分間の番組でしたが、合計５日間もの密着取材を受けて、
なんと四国研修旅行にも同行取材！
普段何気なく見ているテレビですが、１つの番組を作ることの
大変さを少し知れたような気がします(>_<)
左の写真は、愛媛県内子町のお客様のところでの撮影の様子。
納めさせていただいた三六-SABUROKU-の音を
確認しているところです。この距離で撮影されているのに、何も
気にせずにいつも通り太鼓を打つ六代目はさすがですね(^_^;)
そしてその後ろには七代目の姿が!!

伝統を守るってどういうことだろう？

今回の番組テーマは、まさに普段の仕事のテーマそのもの！
“伝統を守るってどういうことだろう？”
そんな投げかけから番組はスタートしていきました。
和太鼓の形、使い方が時代とともに変わっていっても、
本質は変わらない。
伝統を守っていくことの大切さ、伝統を作っていくことの
大変さ。私たちの仕事に対する想い、太鼓に対する想いを
本当に素晴らしくまとめてくださいました。

番組が始まりました　ドキドキ



初代の名が入っている
太鼓も紹介されました

大切なのは温故知新

放送が終わるとテレビをご覧いただいた多くの方から
メッセージを頂戴しました。その中には、ある東京の方からの
お電話で、今私の目の前にある太鼓は明治２５年
“三浦彌市”と名が入ってます！
と、大変嬉しいお電話もいただきました(^-^)
形や見た目ではない。しっかりと和太鼓の本質がある太鼓
だからこそ、時代が流れてもちゃんと現代まで受け継がれて
いる。そして、この先もずっとこの太鼓は受け継がれて
いくことでしょう。
この放送を通して、改めて自分たちも多くのことを考えさせ
らたような気がします。人と人とのご縁、太鼓とのご縁、
伝統を守り、伝統を創ること。先人たちが残してくださった、
教えてくださった和太鼓の本質を、活きた音を皆さまに
お届けできるよう、日々精進してまいります！
放送された映像は、下記ＵＲＬのＮＨＫ番組ホームページ
から見ることができるので、ぜひご覧ください(^^♪
http://www.nhk.or.jp/doutoku/onmyway/?das_id=D0005130165_00000

太鼓づくりvol.9

～新入りひーくん今年を振り返って～

こんにちは、ひーくんです！
高校を卒業し、三浦太鼓店へ就職して９か月が経ちました
初めは一人岐阜を出て不安もありましたが、多くの人に出会い支えられ、ここまでやってこれました。
本当に感謝です。
そして、三浦太鼓店へ来てこの９か月、とてもたくさんのことを学ぶことができました。

この9か月を振り返って感じたこと

【仕事をしていて楽しいと感じること！！！】
出来なかったことができるようになった時や、皮をつくり終えたときの達成感を感じたとき。
【大変だと思うこと！！！】
真夏の炎天下での皮削りは、汗びっしょり。冬は水仕事で手の感覚はありません。（´・ω・｀）
皮づくりでは、畳の上で長時間同じ姿勢をキープしなくてはならず、６代目や慶さんの様に座り方のコツを掴むまで、まだまだ時間が掛かりそうです(._.)

真夏は汗で前が見えなくなります！

丁寧に美しく且つ早くを目指してがんばています！

【４月の自分と今の自分を比べて成長したこと！！！】
皮づくりの製作時間が短くなったこと。
牛一頭分の皮の状態を見て、少しずつ判断できる様になったこと。
初めは、締太鼓の皮を１日１、２枚程しか作れませんでしたが、今では３、４枚のペースで作れる様になってきました！

職人になりたいという夢を持ち三浦太鼓店へ就職して、この一年で大きな一歩を踏み出すことができました。
これからもさらに自分の技術に磨きを掛け、前へ前へと進んで行きます。
皆さま、今後ともどうぞよろしくお願いいたします！！

おやじのつぶやき

おやじは今年還暦を迎えました。
サラリーマンであれば一般的に定年の歳です。
感慨もひとしおです。
社会人になって、結婚して、子供が出来て、
がむしゃらに働いてきました。
色々なことがありましたが、振り返ってみると
幸せな 60 年でした。
これからもまだまだ仕事は続けていきますが、
少しは休養をとって女房とゆっくりした時間も
過ごしたいと思っています。
来年は次の代への引き継ぎも進めていきます。
これからも三浦太鼓店への応援
よろしくお願い致します。

編集後記

こんにちは、しほです(^-^)
今年もあと少しとなりました。皆様にとって
２０１５年はどんな年でしたでしょうか。
今年は、三浦太鼓店にとっても大切な年と
なりました。それぞれの一年を振り返り、
“書”にさせて頂いた表紙の言葉。
【言葉は魂が宿る言霊】
強い思いを言霊にのせ、これからも歩き続けて
いきます(^-^)
本当に今年１年大変お世話になり、
ありがとうございました！
良いお年をお迎えくださいね(^-^)
お正月休みはこたつで紅白歌合戦かな (*^▽^*)

新着＆イベント情報

来年も開催します 東京展示会！
2016 年 2 月 26 日(金)、27 日(土)

【会場】ラパン・エ・アロ
【住所】〒150-0001
東京都渋谷区神宮前 5-44-2
【お問い合わせ】
㈱三浦太鼓店
TEL:(0564)21-2271

毎年大変多くの方にご来場いただいております東京
展示会。地元愛知岡崎から（有）ファナビス（がら紡）
宝生園（万年青）神尾印房（手造り印章）の四人展。
そして LIVE スペシャルゲストの彩雲打奏ななしき！
そして今年も**オカザえもん**が応援に登場します！
皆様のご来場をこころよりお待ち申し上げます。

2016 年 2 月 21 日(日)
備中温羅太鼓　４０周年記念公演

岡山県総社市に古くから伝わる
温羅伝説にちなみ備中温羅太鼓を
結成。地方から、全国へ文化の
発信を目指し活動されています。
魂を揺さぶられる太鼓の響きを
ぜひ一度見て頂きたい！

【会場】岡山県総社市民会館
【チケット】全席指定
S 席/3,000 円 A 席/2,500 円　B 席/1,500 円
【時間】１３時会場　１４時開演

＜購読無料＞
この新聞は不定期で発行しております。
購読ご希望の方は HP の三浦太鼓店
新聞請求フォームからご請求ください。
URLhttp://www.taikoya.net/sinbun.html

発行責任者：朝倉慶介　三浦史帆

〒444-0072 岡崎市六供町杉本 32-2
慶応元年創業
株式会社 三浦太鼓店
TEL(0564)21-2271
FAX(0564)21-2272
E-mail　info@taikoya.net
URL　http://www.taikoya.net/

HP, SNS紹介
・三浦太鼓店 HP
・六代目ブログ
「和太鼓と生きる」
・三浦太鼓店
facebook ページ